



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年7月のロータリーレポートは 1ドル= 80円

パストガバナーからの手紙 炭谷亮一 8月9日用
「いじめの深層」 その1

今日「いじめ」は大問題。政府が死に物狂いになって調査しているが、原因が分からない。どうしても真相がつかめない「五里霧中」と言う言葉がぴったりの状態だ。社会科学的分析をやらないから、分からないのである。「いじめ」と言う現象自体は、昔からあった。世界中どこでもあった。しかし今の日本の「いじめ」はそれとは全然違う。ここが最大のポイントである。どこが違うのか。昔のいじめは、いじめる主体がいた。いじめられる客体がいた。ガキ大将は「お前、俺の子分になれ」「はいなります」と言うといじめるのをやめる。「なりません」と言うとさんざんやられる。そういういじめは世界中どこにでもある。

いじめられなくなかったら、ガキ大将以上に強くなれ。デイズレイリ(元英国首相)は子供の頃「ユダヤ人の子だ」としてさんざんいじめられたから、ボクシングの稽古をやって相手を張り倒した。これが、当時はベストな方法だった。セカンド・ベストは、子分になれと言われたら、忠実な子分になる。とりあえず、いじめはなくなる。主体があって客体がある場合には、相手を張り倒すか、悔しいのを我慢して子分になるか、そのどちらかで「いじめ」は解消する。いずれにしても自殺するほどのことでない。ところが、最近の「いじめ」ちょっと複雑だ。いじめる主体がなくて客体もない。だから救いがたい。しいて言えばいじめる主体は「空気」だ。あいつは汚いだとか、臭いだとか、気味悪いだとか、「いじめ」の空気が出る。そうすると非常に陰鬱な「いじめ」をやる。しかし空気による「いじめ」だから、その時の状況でどこに吹いていくか分からない。

誰かが誰かをいじめると言う空気をつくる。すると関係ない生徒までその空気に乗る。乗らないと、いじめが自分に来る。かくて「いじめ」と言う空気が、クラス全体にみなぎる。

被害者が自殺する様な悪質ないじめが起きても、他の生徒はいつさい口出ししない。いじめの空気に逆らって、自分がいじめられたら大変だ、だから見て見ぬふりするしかない。

空気によるいじめは、特異な怖さがある。「空気」が犯人だから、文科省がいくら予算を使って調査・研究しても有効な解決策は見出せないとは私は考えている。

戦後70年余りの今日、子ども達の未来は暗い、いや風前の灯火かも知れない。「ルソー」は、「人間は二度生まれる。一度目は誕生、二度目が青春だ」と語った。また「ゲーテ」は「すべて偉大なるものは青春において作られる。その後の人生は注釈にすぎない」と言った。

クラブ例会予定 2012-2013年度

8/2	金沢市立病院院長	高田 重男様
8/9	よしだ小児科クリニック	吉田 均様
8/23	金沢心臓血管センター CEO	名村 正伸様
8/30	ピアノ演奏	竹田 理琴乃様
9/20	中尾哲雄ガバナー公式訪問	

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 **エグゼクティブ**：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) **クラブ管理運営委員長**：村田祐一 副：相良光貞(親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊)

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敬一郎 副：後出博敏(職業：土田初子 社会新世代：武藤清秀)

国際：宮永満祐美 **ラオスプロジェクト**：岩倉舟伊智)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勸菊 副：東海林也令子(ロータリー財団・米山：藤間勸菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子(広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子)

会報：石丸幹夫)

常任理事：石丸幹夫

★**太字**：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 木 9:00～12:00、17:30～20:00 休憩時間 12:00～13:00

人間にとって、青春とは、何ものにも掛け替えの無い貴重な時期である。それが受験、受験、学校に行けば「いじめ」があり、家に帰れば、親子の断絶、家庭不和、家庭内暴力、最近はそれでもややましにはなったが日教組による自虐教育、これでは子ども達は日本に日本人であることに誇りを持たず、心を許せる友達もいない、最悪の状況と言える。何としても子どもの自殺だけは防止しなくてはならない。これは我々日本成人の責務である。次回防止策について述べたいと思う。

事務局：来週 8月13日～8月16日迄の間、お盆休みを取らせて頂きます。よろしくお願い致します。



例会便り

662回

ホテル日航金沢5F

2012 8.2 (木) 19:00

出席率 23/35 65.71%

6月修正出席率 66.25%

点 鐘 .

1 国歌 『君が代』

SONG 『それでこそロータリー』

2. 四つのテスト

3. 北山吉明会長 挨拶：

アメリカおよび韓国からの交換学生のお世話を頂いた会員の皆様本当にご苦労様でした。おかげで彼らも楽しい日本の思い出を抱えて帰国した



と思います。

今、新聞はロンドンオリンピックのニュースで、埋め尽くされていますが、その間を縫って震災関係や原発関係の情報が報道されています。それによると、ここ1週間に、原発をめぐる状況が急激に変化しています。脱原発の運動が効果を発揮してきたように思います。この暑い日の中で、毎日2000人の人たちが福島第一原発の処理作業に従事しています。彼らの放射線障害も心配でし、何と言っても、この問題は未だに何の解決も見られません。放射性廃棄物が2万年の管理を必要とすること、その最終処理法が今もって無いということ、これらの事実をしっかりと認識し、今後のエネルギー対策を個人個人がしっかりと考えていきましょう。

ゲスト紹介 (卓話者) 高田 重男 様 (金沢市立病院院長)

ビジターの紹介

今月の誕生者の紹介 3日 井口千夏会員 25日 西村邦雄会員 31日 大路 孝之会員

《 食 事 》

幹事報告・委員会報告



川きみよ幹事：2013ロータリー世界平和フォーラム広島のお知らせ

日時 平成25年5月17日(金)、18日(土)

RID 2610地区のウェブサイトリニューアルのご案内

<http://www.rotary2610.jp/>

石丸幹事会報委員長：百万石RCのホームページを見て下さい。ニューアップされています。又姉妹クラブの京都北東RCのHPもなかなかいいですし、地区のHPはだいぶんお金をかけてきれいにしましたので是非見て下さい。

官永満祐国際法務委員長：今回は米国、韓国の青少年のために本当にご協力いただき有り難うございました。お陰様で無事終了することができました。

金沂秀親睦委員：今回の留学生のお世話は全員参加の良い雰囲気でした。有り難うございました。



ニコニコBOX

¥10,000- 本年度 ¥84,000- 残高 ¥4,160,879-

北山会長：高田重男先生、ようこそ百万石ロータリークラブへ。卓話楽しみにしています。井口会員：高田重男先生、本日はよろしくお願い致します。炭谷会員：7月中の交換留学生の世話された会員の皆様御苦労様でした。高田先生、卓話楽しみにしています。西村会員：高田重男先生、卓話よろしくお願い致します。藤間会員：高田重男先生ようこそ、卓話楽しみにいたしております。井口さん、西村先生、大路さんおめでとうございます。若狭会員：お多忙の中、高田重男先生ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願い致します。



講話の時間

「ホスピタリティ・アートの展開と安全・味わいの医療」

高田 重男 様 (金沢市立病院院長)

紹介 (若狭豊会員)

昭和 49 年 3 月 金沢大学医学部医学科卒業

昭和 60 年 2 月 医学博士(金沢大学)



職歴：

昭和 49 年 4 月 金沢大学医学部附属病院 第一内科入局

昭和 55 年 4 月 金沢大学医学部附属病院 第一内科 助手

昭和 63 年 11 月 金沢大学医学部 第一内科 講師

平成 2 年 3 月 金沢大学医学部附属病院 内科学 講師

平成 5 年 6 月 金沢大学医学部 内科学 助教授

平成 8 年 4 月 金沢大学医学部 保健学科 教授

平成 15 年 4 月 金沢大学医学部 保健学科 学科長、金沢大学教育研究評議会評議員

平成 16 年 8 月 金沢大学医学系研究科先端医療技術学講座教授

平成 17 年 4 月 日本循環器学会理事 平成 19 年 4 月 金沢市立病院・院長

学会及び社会における活動等

日本循環器学会(評議員) 日本心電学会(評議員) 日本不整脈学会(評議員) 心不全学会(評議員)

臨床生理学会(評議員) 日本生体医工学会(評議員) 日本高血圧学会(評議員、生涯教育委員、

日本高血圧協会石川支部長) 日本内科学会(北陸地方会運営委員)

講話：「ホスピタリティと安全・安心・味わいの医療」



現在患者さんの生活のしやすい環境になっていますか？

病院の起源はホスピタリティで患者の家とかホテルや教会や修道院の意味しますが、日本や中国では医家奥は私的病院でした。

金沢市立病院では地域のみなさんと共につくる安心・安全・味わいの医療の実践を考えています。医療にアートが必要です。アートや音楽は

で脳の活性化がなされ、治療への応用が期待されます。

Hospitality Art の学問としての確立です。

具体的例として、ステンドグラス壁画、万華鏡づくり、世界で一つの湯飲み、ホスピタリティ・アートデザイン展、夢の水族館、オアシス、待ち時間を豊かにする椅子、水回りプロジェクトなどです。

「美術と音楽と健康」で高血圧を考える企画などホスピタリティアートの学問としての確立など。金沢大学(医学)、金沢美術工芸大学(アート)、金沢市、金沢市立病院が連携して医学と美術の融合をはかっています。ーーーなどユニークな企画はこれからのホスピタリティやその他の産業にも考えねばならないことだと思います。

現在、病院は患者さんの生活しやすい環境になっていますか？

- バリアフリー
- プロやセミプロの美術品の掲示
- × 玄関の傘立て、車椅子などの補助用具の整備
- × 障害者用のいすの整備
- × 天井の工夫
- × ペットサイドの整備
- × 障害者へのトイレ、風呂、洗面所の配慮
- × 病院全体を安らぎの空間とする工夫

待ち時間を豊かにする椅子



ステンドグラス壁画“実り”



点 鐘

お知らせ

① 長谷川塑人陶芸塾で陶芸をしてみませんか？

初めての方は勿論、経験された方にも、優しく丁寧で討議の技術や技法をおつたえます。楽しい充実した時間をお持ち下さい。初級、中級、上級コースがあります。

電話 FAX076-231-3345

陶芸家 長谷川塑人先生 (もとガバナー補佐・金沢北 RC 会員)
希望者は木場紀子会員まで

② 金沢・浅野川園遊会 白糸川床 pm6:15 ~ 7:45
8/10 (金) まで ¥13,500



ホームページが new up されています。

ロータリーの友 8月号から



RI2610 地区の HP (top ページ)



金沢百万石ロータリークラブ
第 2610 地区 (石川県)

明るく染まる夜明けの空に新緑がゆらめき、日本海の青さが広がります。この風景とともに、伝統ある加賀百万石の地を、紫色で表現。希望と活気にあふれる金沢を、豊かな自然の中から生まれた色彩で構成し、完成させました。

縦書きのページ 14 の バナー
自慢にクラブのバナーがのりました。



金沢百万石 RC の HP の top ページ

驟雨去り軒よりいでたる子雀と
目と目が出合うコーヒータイトム
石川・金沢百万石 石丸 恭子

ロータリー歌壇入選
(佐佐木幸綱選)



親愛なる子供たちへ

私たちは君たち皆の父親であり、母親であり、祖父であり、祖母でもあります。
私たちは行動を起こそうとしている市民であり、科学者でもあります。
私たちはこの美しい猪苗代で、一緒に働き、そして考えるために二日間集まりました。
私たちは、ここの自然の美しさに心を奪われています。大きな湖が見え、窓からは濃い緑の山々が見えます。
冬には多くのウィンタースポーツの愛好者が集まると聞いています。
私たちの多くは日本から来ました。そして多くが福島県から来ました。また何人かは、飛行機に乗ってヨーロッパから来たのです。それはとても長い旅でした。

私たちがここに集まっている本当の理由は君たちです。
私たちは、君たちや君たちの子どもたちが、健やかに成長することを願っています。
君たちは皆あの大きな地震のこと、津波のこと、福島第1原発の事故のことを知っていますよね。あの時本当にたくさんの危険な物質が空気と海の中へ流れ出たのです。その物質は放射性です。見ることも匂いのかぐこともできない光を放っているのです。それが危険なのです。見えないから、深い水たまりをよけるようにその周りをよけて通ることはできません。この物質は地面に落ちて植物に入っていきます。動物がそれらの植物を食べ、その物質で汚れた水を飲みます。私たちがそのような植物や動物を食べると、この放射性の物質は、私たちの体に入ってきます。たくさんの動物や植物が病気になりますが、私たちもそのことによって病気になるかもしれません。私たちの何人かは、今どのような食べ物を食べてはいけないかを調べようとしています。とても大事なことです。

私たちは、誰もが息をしなければなりません。空気の中にも放射性の物質は漂っています。私たちが空気を吸って、この物質が肺の中にたまってしまうととても危険です。私たちは怒っていて、同時にとても悲しんでいます。
君たちに何を食べさせたらいいのか、こんなに考えなければならないということに。
君たちが毎日吸っている空気について、こんなに考えなければならないことに。

君たちは、きっと聞くでしょう。そのように危険な物質を出す原子力発電所を、なぜ動かすのか？と。同じことを私たちも考えています。答えはわりと簡単です。
それでたくさんお金をもうけることができるからです。君たちの家にはコンセントや電気があって、もしかしたら何人かの家には温かい便座もあるでしょう。君たちの何人かは、あの速い新幹線に乗ったことがあるでしょう。日本では電気の一部が原子力発電所で作られています。みんな電気が必要で、そのためにたくさんのお金を払うのです。そのことによって原子力発電所はお金持ちになるのです。だから原子力発電所は、電気がなければ私たちは生きられないと言うのです。原子力発電所を動かしておかなければ、私たちは凍えてしまうか、暑くて

大汗をかいてしまうと言うのです。でも、私たちが毎日必要としている電気を作る、たくさんほかのやり方があるのです。日本ではそれらは特にうまくいくでしょう。逆に原子力発電は日本では特に危険です。原子力発電所は地震に弱いし、ほとんど全部が水辺に建っていて、そこには津波が来る可能性があるのです。

君たちの何人かは、きつともうチェルノブイリという名前を聞いたことがあるでしょう。チェルノブイリはウクライナにあって、そこで26年前、とても大きな原子力発電所の事故があったのです。放射性の物質は、空高くまで噴き上げられ、多くの国のたくさんの人に影響を与えました。運の良いことに、あの頃日本は、あまり影響を受けませんでした。あの頃私たちは、こんなことは2度と起こってはならない、と思ったのです。あの頃ヨーロッパで、私たちは自分たちの子どもたちに何を食べさせたらよいか悩んでいたのです。あの頃私たちはとても怒っていました。でも時間がたって、私たちはあの怒りを少し忘れかけていたのです。でも福島事故がすべてを呼び覚ましたのです。

ドイツやほかの国々で、たくさんの人々が通りに出て抗議をしました。それによってたとえばドイツでは原子力発電所が止められることになりました。一度に全部ではないですが、ともかく止められることになったのです。

今、東京や大阪や日本のたくさんで、大きなデモが行われています。人々は、止められている原子力発電所は、止めたままにしておいてほしいと思っているのです。一度止まった原子力発電所が再び動かされようとしていることに反対しているのです。今、君たちのためにここに集まって話し合っていないければ、私たちもきっと彼らと一緒に通りに出ているでしょう。

私たちには残念ながら力が足りません。すぐに日本中の原子力発電所を止めるように命令する力は、私たちにはありません。でも私たちは、多くの人々が勇気をもって、原子力発電所について本当はどう思っているのか、大きな声で言うてくれることを願っています。君たちのお母さんは、君たちが公園で遊んでよいかどうか考えなければならぬことを喜んでいてと思いますか？ 何をお昼に食べさせたらよいか悩んだり、君たちがすでに放射線で病気になっているのではないかと心配しなくてはならぬことを喜んでいてと思いますか？ お母さんが君たちを連れて安全な地域に行くときに、お父さんが危険な地域に残って働かなければならぬことを、両親が喜んでいてと思いますか？

どんな政府も、市民の意志に反して長い間統治することはできません。とても力を入れて何とかしようとするでしょう。

でも、君たちが大きくなっても、福島で起こったこと、君たちが経験したことは、忘れないでください。

嘘を信じないでください。君たちの頭を使って考えてください。

君たちは自分でできるよね。

私たちの力は小さいかもしれない。けれども、私たちはこれからもできる限り真実を探すと君たちに約束します。

そして真実について、人びとと分かち合っていきます。

私たちは諦めないと約束します。

たとえ私たちがやり遂げられなかったとしても、君たちがやり遂げられると信じています。そうすれば君たちの子どもたちがいつか聞いてくるでしょう。

あのころの放射線ってなんだったの？と。

私たちの会議も終わりです。私たちは、君たちへのこの手紙についても話し合いました。

この手紙は、君たちと未来へのかけはしです。

君たちがこのことについてどう思っているか、語り合えたらと思います。

心を込めて

市民科学者国際会議

2012年6月24日

セバスチャン・プフルークバイル
ドイツ放射線防護協会

島薮 道
東京大学大学院人文社会系研究科

有馬克子
福島県須賀川市滑川字東町 327-1

丸森あや
福島県福島市置賜町 8-8 パセナカミッセ1F

Sebastian Pflüger
島薮 道
有馬克子
丸森あや

お話ししていただく吉田先生たちが翻訳された「チェリノブイリの恐ろしい健康被害」の元本を出版された方々のお一人のセバスチャンさんの福島の子供たちへのメッセージです。深いものを感じていただけるとありがたいです。 村田祐一

青少年交換のお礼 南光州 RC 朱氏から



こんにちは チュミスン日本訪問体験記をおくります。蒸し暑い天候 健康には用心されて気を付けて下さい。
有り難うございます。 チュギョンワン 拝 次号掲載